

アステラスメールマガジンです。

今回は、2月4日に発表した2025年度第3四半期決算、最新のOur Storiesおよび最近のニュースについてお知らせします。

連結業績について、2025年度前半からの好調なモメンタムが継続しており、通期予想を再度引き上げました。

売上収益は、重点戦略製品が前年同期比で1,000億円以上増加する力強い成長に牽引され、前年同期比10.2%増の1兆6,013億円と大きく増加しました。全社レベルでコスト最適化を追求する取り組みであるSustainable Margin Transformationが引き続き好調に進捗し、販管费率*は前年同期比で2.7パーセントポイント改善しました。これらの結果、コア営業利益は前年同期比48.6%増の4,421億円と大きく増加し、コア営業利益率は前年同期比で7.1パーセントポイント上昇して27.6%となりました。フルベースの営業利益は、3,339億円となりました。

通期業績予想について、これらの好調なモメンタムを踏まえ、第2四半期決算に続き、売上収益を700億円、コア営業利益を300億円、フル営業利益を1,000億円、それぞれ再度上方修正しました。

決算短信や決算説明会資料、オンデマンド配信動画などを当社ウェブサイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。

*米国XTANDI共同販促費用を除く

IRミニトピックス

《IR関連情報》

■「IRライブラリー」を更新しました

2月4日発表 2025年度第3四半期決算関連資料を掲載しています。

<https://www.astellas.com/jp/investors/financial-results-library#section-accordion-2d408d5df9-0>

2月4日開催 2025年度第3四半期決算説明会の模様をご覧ください。

<https://www.irwebcasting.com/20260204/3/index.html>

■1月30日 抗体-薬物複合体パドセブ（エンホルツマブ ベドチン） シスプラチン不適応の筋層浸潤性膀胱がんを対象としたペムブロリズマブとの併用療法について日本で適応追加に関する承認申請

Pfizer Inc.と共同で開発を進めている抗体-薬物複合体パドセブ（一般名：エンホルツマブ ベドチン（遺伝子組換え））とMSD株式会社の抗PD-1抗体キートルーダ（一般名：ペムブロリズマブ（遺伝子組換え））の併用療法について、シスプラチンを用いた化学療法に不適応の筋層浸潤性膀胱がん（MIBC）患者を対象とした術前術後の補助療法として、日本で適応追加に関する製造販売承認事項一部変更承認申請を行いました。

シスプラチン不適合のMIBCに対する本併用療法の適応追加に関して、米国では2025年11月に米国食品医薬品局から承認を取得しています。欧州では、欧州医薬品庁の欧州医薬品委員会による審査が進行しており、欧州委員会による承認可否判断が続きます。

[プレスリリースへのリンク](#)

■2月3日 フェゾリネタント 閉経に伴う血管運動神経症状を有する女性を対象とした日本における第III相試験のトップライン結果が判明

閉経に伴う血管運動神経症状（VMS）に対する経口の非ホルモン治療剤として開発中のフェゾリネタントに関し、日本で実施するピボタル試験である第III相STARLIGHT 2試験のトップライン結果において、主要評価項目を達成しました。ホットフラッシュ、発汗や寝汗を特徴とするVMSは、閉経に伴う一般的な症状です。

本試験の詳細な結果については、2026年後半に学会発表および論文投稿するとともに、日本における承認申請用のデータとして使用される予定です。

フェゾリネタントは、2023年5月に米国食品医薬品局（FDA）からVEOZAHとして初めて承認され、現時点で45カ国において承認を取得、36カ国で発売されています。

当社は、日々の生活に大きな影響を及ぼすVMSを有する女性に、非ホルモン療法の新たな治療選択肢を提供するため、フェゾリネタントの開発を進めています。

[プレスリリースへのリンク](#)

■「X連鎖性ミオチューブラーミオパチーの新たなケアと未来への挑戦」ストーリーを公開しました

アステラスのオウンドメディア Our Stories にて、新たに「X連鎖性ミオチューブラーミオパチーの新たなケアと未来への挑戦」を公開しました。

X連鎖性ミオチューブラーミオパチー（XLMTM）は、新生児男子の約50,000人に1人が発症するといわれる希少疾患で、患者さんやご家族の生活に大きな影響を及ぼします。本記事では、アステラスがXLMTMコミュニティと協働し、疾患理解を深めるための取り組みや、患者さんやご家族の実体験が研究開発の方向性を導くうえでどのように役立っているかをご紹介します。XLMTMコミュニティと共に取り組むことで、疾患への理解を深め、コミュニティのニーズに寄り添った支援の在り方を模索しています。

ぜひ、この記事をご覧ください。

[X連鎖性ミオチューブラーミオパチーの新たなケアと未来への挑戦](#)

絶対に創る

その病気の話を、

今日も新聞が報じている。

見えないところで、

病気と闘う人の話。

患者を支える、家族の話。

新薬を待ち望む

たくさんの人の想いに、

研究者は決意を強くする。

まだないくすりを絶対に創ると。

明日は変えられる。

アステラス製薬



IR担当者のひとことボイス

明日2月6日、イタリアでミラノ・コルティナオリンピックが開幕します。今大会の特徴は、複数都市による共同開催が史上初となることです。距離がおおよそ250キロメートル離れた両都市での開催は、オリンピック憲章の改定により初めて実現しました。

以前北京冬季オリンピックを本メールマガジンで取り上げましたが、あっという間に次のオリンピックが来た感覚で、時の流れの速さを感じます。私は以前と変わらずスピード系の競技が好きなので、これまでのオリンピックと同様、これから競技の録画が積み重なる生活が始まる予感がしています。

暦の上では立春を過ぎ、ここ関東では桜が咲く時期の暖かさですが、今週末は全国的に強い寒波に見舞われる予想で、まだまだ寒い日が続きます。今年はオリンピックを皮切りにスポーツの祭典が続きます。出場選手に熱い声援を送って寒さを吹き飛ばし、春本番に向かっていきたいですね。

みなさまの声をお聞かせください

メールマガジン読者の皆さまにご意見やご感想をお伺いするためのアンケートを実施しております。皆さまからお寄せいただいた貴重なご意見やご感想を今後のよりよいメールマガジン作成の参考とさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

アンケートフォームはこちら。

<https://forms.office.com/r/0PeK6tvg61>

アステラスメールマガジンNo.127 (2026/2/5)

◆配信停止は下記から↓

<https://q.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=bm65634vc&task=cancel>

◆発信元 アステラス製薬株式会社（編集：広報 IR）

お問い合わせ先：<https://www.astellas.com/jp/form/individual-investors-contact>



Copyright 2026 Astellas Pharma Inc. All rights reserved.